

不健康な健康保険を ほったらかしにしてはいけない。

今、日本の医療費は毎年1兆円を超える規模で増加の一途を辿っています。

なかでも、医療費の約6割を占める高齢者医療の増加が著しく、
放置できない喫緊の課題です。

これまでも、高齢者の医療費を現役世代が支える仕組みで
「国民皆保険制度」が成り立ってきました。減少する現役世代に対し、増加する高齢者。
それに伴い増加する医療費を、皆さん一人ひとりの
「健康保険料」の増額というかたちで賄ってきました。
その結果、高齢者の医療費を支える現役世代と企業の負担が重くなり、もはや限界です。

給料が多少増えても、手取り額は増えない実態に
健康保険料の増額が少なからず影響を与えているのです。

しかし、高齢化は止まりません。
医療費の増加は、さらにペースを上げ、国民負担は増える一方です。

私たちの健康と安心を支える「健康保険」は、いちばん不健康な状態に陥っています。
このままでは「国民皆保険制度」の破たんにも繋がりがかねません。

今、必要なことは、私たち一人ひとりが、もっとこの問題に関心を持ち、
世代を超えて向き合い、考え、声をあげていくことではないでしょうか。

私たちみんなが、安心して医療を受け続けていくために。
みなさんの声を集め、発信していく「場所」をつくりました。

「あしたの健保プロジェクト」
今、はじまります。

＼健康保険のみらいをみんなで作る／

あしたの健保プロジェクト



国民皆保険制度を持続
していくためにあなたの
声がチカラになる >>>

あしたの健保

検索

www.ashiken-p.jp

健康保険組合連合会 www.kenporen.com

健康保険組合は、約3,000万人のサラリーマンとその家族の健康を守っています。健康
保険組合連合会(健保連)は、全国1,400余りの健康保険組合の連合組織です。
〒107-8558 東京都港区南青山1丁目24番4号